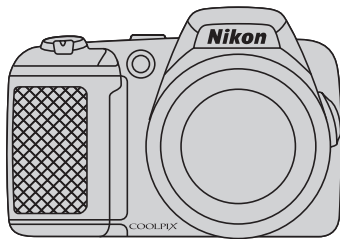
Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX L810

クールピクス L810

使用説明書

商標説明

- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSおよびQuickTimeは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- PictBridgeロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）

(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

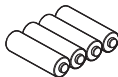
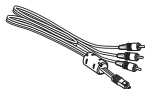
http://www.mpegla.comをご参照ください。

はじめにお読みください

ニコンデジタルカメラCOOLPIX L810をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。お使いになる前に、本製品の使用方法や「安全上のご注意」(□vii)をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

箱の中身をご確認ください

万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。

COOLPIX L810 カメラ本体
ストラップ
アルカリ単3形電池(4本)※
レンズキャップ LC-CP25(レンズキャップ用ひも付)
USBケーブル UC-E16
AVケーブル EG-CP16
ViewNX 2 Installer CD(ViewNX 2 インストーラー CD)
活用ガイド CD

- 使用説明書
- 保証書
- 登録のご案内

※ 付属の電池はお試し用の電池です。

- メモリーカードは付属していません。

本書について

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」(□9) をご覧ください。
また、カメラ各部の名称や液晶モニターの表示については、「各部の名称」(□1) をご覧ください。

●付属「活用ガイド CD」について

「活用ガイド」をPDF ファイルで収録しています。さらに詳しい説明を知りたいときにご覧ください。
Adobe Readerで閲覧できます。Adobe Readerは、Adobeのホームページからダウンロードできます。

「活用ガイド CD」の内容を見るには

1 パソコンを起動し、「活用ガイド CD」をCD-ROMドライブに入れる。
2 コンピューター(Windows 7/Windows Vista)、マイコンピュータ(Windows XP)または、デスクトップ(Mac OS X)にある[**COOLPIX L810**]CDアイコンをダブルクリックする。
3 INDEX.pdfアイコンをダブルクリックし、[**活用ガイド**]をクリックする。

●本書の記載について

- 本文中のマークについて

マーク	意味
☑	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
✎	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
📖/☼	関連情報が記載されているページです。☼は「付録、索引」のページです。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[ ] で囲って表記しています。
- 本書では、液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●カスタマー登録のお願い

下記のホームページから登録をお願いします。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載の登録コードをご用意ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●説明書について

- 説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 説明書が破損などで判読できなくなったときは、PDF ファイルを下記のホームページからダウンロードできます。

  http://www.nikon-image.com/support/manual/

  ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、［**オープニング画面**］（□88）の［**撮影した画像**］も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は以下のようになっています。

⚠危険	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。**
⚠警告	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。**

お守りいただく内容の種類を、以下の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告（カメラについて）

 分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
 接触禁止 すぐに 修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
 水かけ 禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
 電池を 取る すぐに 修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
 使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使わない** プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。
 発光禁止	**車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと** 事故の原因となります。
 発光禁止	**フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影する時は1 m以上離れてください。
 保管注意	**幼児の口にはいる小さな付属品は、幼児の手の届く所に置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。 飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。
 保管注意	**ストラップが首に巻きつかないようにすること** **特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと** 首に巻き付いて窒息の原因となります。
 警告	**指定の電池または専用AC アダプターを使用すること** 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。

禁止	**通電中のカメラに長時間直接触れない** 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。
使用禁止	**ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠注意（カメラについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
保管注意	**製品は、幼児の手の届く所に置かない** ケガの原因になることがあります。
保管注意	**使用しないときは、レンズにキャップをつけて太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

使用注意	**航空機内では、離着陸時に電源をOFFにする** **病院では、病院の指示に従う** 本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。
電池を取る プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源（電池やACアダプター）を外すこと** 電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因になることがあります。 AC アダプターをご使用の際には、ACアダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因になることがあります。
発光禁止	**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因になることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります。

禁止

付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと

機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。

⚠注意
（3D画像について）

使用注意

本機器で撮影した3D画像をテレビまたはモニターなどで長時間続けて視ない

特に視覚の発達段階にある幼児は、事前に小児科や眼科などの医師の指示に従う

眼の疲労や、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。
症状が出たときは、3D画像の閲覧をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。

⚠危険
（リチウム電池、アルカリ電池について）

危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告
（リチウム電池、アルカリ電池について）

警告

外装チューブをはがしたり、傷を付けないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池に表示された警告、注意を守ること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

使用説明書に表示された電池を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

保管注意	**電池は、幼児の手の届く所に置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。
警告	**電池の「+」と「−」の向きを間違えないようにすること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
禁止	**充電池以外は充電しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則にしたがって廃棄してください。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠警告
（アルカリ電池について）

警告	**使い切った電池はすぐにカメラから取り出すこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠危険
（ニッケル水素充電池について）

使用禁止	**リチャージャブルバッテリーEN-MH2 は、COOLPIX用Ni-MH 電池を使用するニコンデジタルカメラ専用の充電池で COOLPIX L810に対応しています** **EN-MH2 に対応していない機器には使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**専用のチャージャーを使用して4本セットで同時に充電すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**電池の「+」と「−」の向きを間違えないようにすること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

新しい電池と使用した電池、型番やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因になります。

危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること
そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告
（ニッケル水素充電池について）

警告

外装チューブを外したり、傷をつけないこと
また、外装チューブがはがれたり、傷がついている電池は絶対に使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池に表示された警告、注意を守ること
液もれ、破裂、発火の原因となります。

水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。

禁止

変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

保管注意

電池は、幼児の手の届く所に置かない
幼児の飲み込みの原因となります。飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。

警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池からもれた液が皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

 警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコン サービス機関またはリサイクル協力店にご持参くださるか、お住まいの自治体の規則にしたがって廃棄してください。
 警告	**使用説明書に表示された電池を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠注意

（ニッケル水素充電池について）

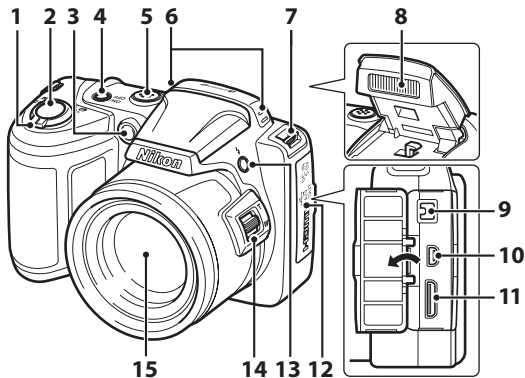
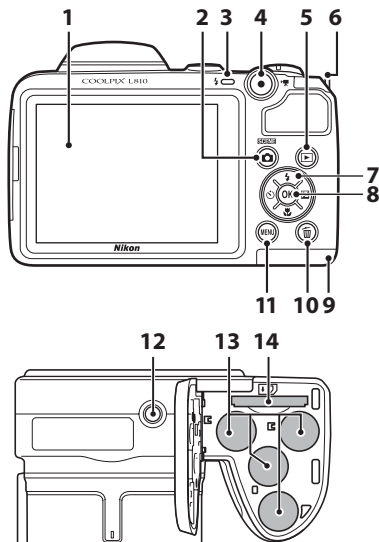
 注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

目次

各部の名称

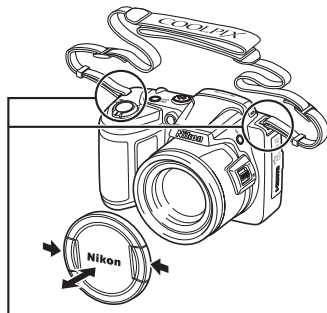
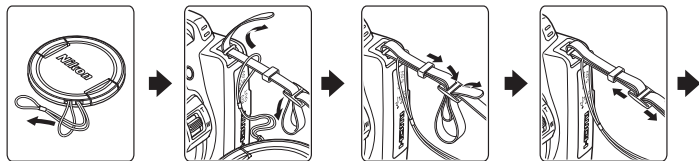
この章では、各部の名称や、液晶モニターの表示について説明しています。

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」（9）をご覧ください。

カメラ本体

1	ズームレバー .... 24 **W** ：広角ズーム .... 24 **T** ：望遠ズーム .... 24 ：サムネイル表示 .... 69 ：拡大 .... 68 ：ヘルプ 35	7	ストラップ取り付け部 4
2	シャッターボタン 26	8	フラッシュ .... 5、51
3	セルフタイマーランプ .... 55 AF補助光 88	9	DC入力端子（別売ACアダプター接続用） 12
4	電源スイッチ/電源ランプ 20	10	USB/オーディオビデオ出力端子 ... 71
5	スピーカー 84	11	HDMIミニ端子（Type C） 71
6	マイク（ステレオ） 80	12	端子カバー 71
		13	（フラッシュポップアップ）ボタン .... 5、51
		14	サイドズームレバー 24
		15	レンズ

1	液晶モニター 6
2	🔴（撮影モード）ボタン ....34、35、44、48
3	フラッシュランプ............................ 52
4	●（🎥動画撮影）ボタン 80
5	▶（再生）ボタン............................ 29
6	ストラップ取り付け部......................4
7	マルチセレクター
8	㊍（決定）ボタン
9	電池/SDカードカバー .... 10、13
10	🗑（削除）ボタン............................31
11	MENU（メニュー）ボタン ....46、49、70、83、88
12	三脚ネジ穴.................................. 🔆18
13	電池室..10
14	SDカードスロット..........................13

各部の名称

ストラップとレンズキャップの取り付け方

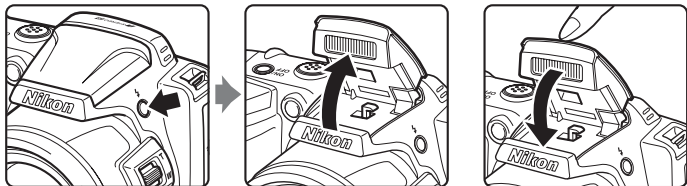
レンズキャップをストラップに取り付けてから、ストラップをカメラに取り付けます。

2カ所に取り付けます。

レンズキャップについて

- 撮影するときはレンズキャップを外してください。
- 電源をOFFにしているときや持ち運び中など、撮影していないときはレンズキャップをカメラに取り付けてレンズを保護してください。

フラッシュのポップアップと収納

ϟ（フラッシュポップアップ）ボタンを押すと、フラッシュがポップアップします。

- フラッシュの設定方法 →「フラッシュを使う（フラッシュモード)」（□51）
- フラッシュを使わないときは、カチッと音がするまでフラッシュを手で軽く押し下げて、閉じてください。

液晶モニターの表示内容

• 撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。
初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に消灯します（［**モニター設定**］（□88）→［**モニター表示設定**］→［**情報AUTO**］時）。

撮影モード

1 撮影モード............34、35、44、48
2 マクロモード................................57
3 ズーム表示............................24、57
4 AF表示..26
5 AE/AF-L表示
6 フラッシュモード..........................51
7 Eye-Fi通信表示.............................89
8 電池残量表示................................21
9 手ブレ補正表示.............................88
10 デート写し込み.............................88
11 モーション検知表示......................88
12 風切り音低減................................83
13 日時未設定............................19、88
14 訪問先..88
15 動画設定.......................................83
16 記録可能時間（動画）....................82
17 画像モード....................................62
18 記録可能コマ数（静止画）............21
19 内蔵メモリー表示..........................21
20 絞り値...27
21 シャッタースピード......................27
22 AFエリア...............................23、26
23 AFエリア（顔認識時、ペット検出時）........................23、26
24 ISO感度表示..................................49
25 露出補正値....................................59
26 ピクチャーカラー..........................49
27 美肌効果.......................................46
28 ホワイトバランス..........................49
29 連写モード....................................49
30 目つぶり軽減.................................46
31 セルフタイマー..............................55
32 笑顔自動シャッター......................46
33 ペット自動シャッター..................42

再生モード

1	撮影日 16	10	内蔵メモリー表示 29
2	撮影時刻 16	11	動画再生ガイド 84
3	電池残量表示 21	12	音量表示........................85
4	プロテクト表示........................ 70	13	D-ライティング済み表示........................70
5	Eye-Fi通信表示........................ 89	14	スモールピクチャー 70
6	プリント指定表示........................ 70	15	美肌編集済み表示 70
7	画像モード 62	16	3D画像表示 43
8	動画設定........................ 83	17	ファイル名
9	(a) 画像の番号/全画像数........................ 29 (b) 動画の再生時間 84		

撮影と再生の基本ステップ

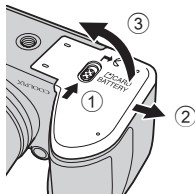
準備

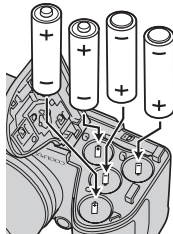
撮影

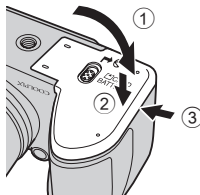
再生

準備1　電池を入れる

1 電池/SDカードカバーを開ける

- 電池/SDカードカバーを開けるときは、電池が落下しないよう、カメラの底面を上に向けてください。

2 電池を入れる

- 電池室内の表示を見ながら、＋と－を正しい向きで入れてください。

3 電池/SDカードカバーを閉じる

- ②の部分をしっかり押さえながら、スライドさせてください。

使用できる電池について

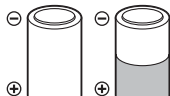
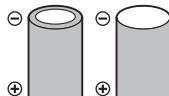
- アルカリ単3形電池（LR6）（付属の電池）×4本
- リチウム単3形電池（FR6/L91）×4本
- Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2（ニッケル水素充電池）×4本

※ Ni-MHリチャージャブルバッテリー EN-MH1は使えません。

電池を取り出すときは

- 電池/SDカードカバーを開ける前に電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してください。
- カメラを使った直後は、カメラや電池、SD カードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

電池についてのご注意

- 「安全上のご注意」の「危険」、「警告」、「注意」（□x～xiii）の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意」（☼2～☼5）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。
- 新しい電池と使いかけの電池を混ぜたり、型番やメーカーの異なる電池を混ぜて使わないでください。
- 以下のような電池は使用しないでください。

外装シールの一部またはすべてがはがれている電池　**マイナス電極の一部が突き出ていて、外装シールが側面にしかない電池**　**マイナス電極が平らな電池**

電池設定について

電池の種類に合わせてセットアップメニュー（□88）の［**電池設定**］を選ぶと、効率よく電池を使用できます。
初期設定は［**アルカリ電池**］です。アルカリ電池以外の電池を使うときは、電源をONにしてから電池設定を変更してください。

Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2をお使いの方へのご注意

COOLPIX L810にEN-MH2を使う場合は、バッテリーチャージャー MH-73で4本同時に充電してください（□89）。

アルカリ電池の性能について

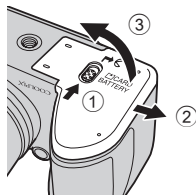
アルカリ電池はメーカーにより性能が大きく異なることがあります。信頼できるメーカーの電池をお使いください。

AC電源について

- 別売のACアダプター EH-67を使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）からこのカメラへ電源を供給できます。
- EH-67以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

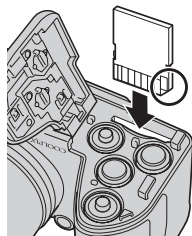
準備2　SDカードを入れる

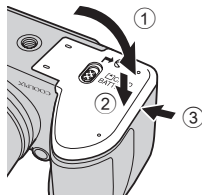
1　電源をOFFにしてから、電池/SDカードカバーを開ける

- 電源をOFFにすると、電源ランプと液晶モニターが消灯します。
- 電池/SDカードカバーを開けるときは、電池が落下しないよう、カメラの底面を上に向けてください。

2　SDカードを入れる

- カチッと音がするまで差し込みます。

逆挿入に注意

SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

3　電池/SDカードカバーを閉じる

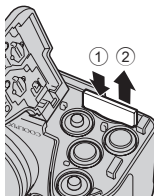
- ②の部分をしっかり押さえながら、スライドさせてください。

SDカードの初期化について

- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、このカメラで初期化してからお使いください。
- **SD カードを初期化すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。**カード内の必要なデータは、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。
- SDカードを初期化するには、カードをカメラに入れ、MENUボタンを押し、セットアップメニュー（□88）の［**カードの初期化**］を選びます。

SDカードについてのご注意

SDカードの説明書や「取り扱い上のご注意　メモリーカードについて」（☆5）をご覧ください。

SDカードを取り出すときは

- 電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、電池/SDカードカバーを開けます。
  SDカードを指で軽く奥に押し込むと（①）、SDカードが押し出されるので、まっすぐ引き抜きます（②）。
- カメラを使った直後は、カメラや電池、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

内蔵メモリーとSDカードについて

撮影したデータは、カメラの内蔵メモリー（約50 MB）またはSDカードのどちらかに記録されます。内蔵メモリーで記録や再生をするには、SDカードを取り出してください。

撮影と再生の基本ステップ

推奨SDカード

下記のSDカードの動作を確認しています。

・ 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

	SDメモリーカード	SDHCメモリーカード※2	SDXCメモリーカード※3
SanDisk	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
TOSHIBA	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Panasonic	2 GB※1	4 GB、8 GB、12 GB、16 GB、32 GB	48 GB、64 GB
Lexar	–	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB、128 GB

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。

※2 SDHC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。

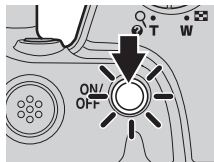
※3 SDXC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。

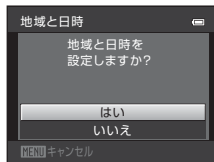
・ 上記SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。その他のメーカー製のSDカードは、動作の保証をいたしかねます。

準備3　表示言語と日時を設定する

ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1　電源スイッチを押して、電源をONにする

- 電源をONにすると、電源ランプ（緑色）が点灯し、液晶モニターが点灯します（液晶モニターが点灯すると、電源ランプは消灯します）。

2　マルチセレクターの▲または▼で表示言語を選び、Ⓚボタンを押す

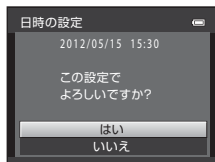
3　▲または▼で［はい］を選び、Ⓚボタンを押す

4 ◀または▶で自宅のある地域（タイムゾーン）を選び、ⓚボタンを押す

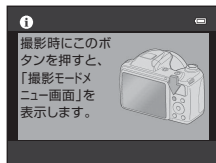
• 夏時間（サマータイム）を設定するには、▲を押して夏時間の設定をオンにします。設定をオンにすると、画面上部に🌞マークが表示されます。オフにするには▼を押します。

5 ▲または▼で日付の表示順を選び、ⓚボタンを押す

6 ▲、▼、◀または▶で日時を合わせ、ⓚボタンを押す

• 項目を選ぶ：▶または◀を押します（[**年**]、[**月**]、[**日**]、[**時**]、[**分**] に切り換わります）。
• 日時を合わせる：▲または▼を押します。
• 設定を確認する：[**分**] を選び、ⓚボタンを押します。

7 ▲または▼で [はい] を選び、ⓚボタンを押す

8 レンズキャップが外れていることを確認し、◘ボタンを押す

- レンズが繰り出し、撮影モードを選ぶ画面になります。

9 [らくらくオート撮影] が表示されたら、Ⓚボタンを押す

- 撮影画面になり、らくらくオート撮影モードで撮影できます（□20）。
- Ⓚボタンを押す前に▲または▼を押すと他の撮影モードが選べます。

言語や日時の設定をやり直すときは

- セットアップメニュー（88）で［**言語/Language**］または［**地域と日時**］を設定します。
- セットアップメニュー→［**地域と日時**］→［**タイムゾーン**］で、夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、オフにすると1時間戻ります。訪問先（✈）のタイムゾーンを登録すると、自宅（⌂）との時差を自動的に計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。
- 日時未設定のまま、設定の画面を終了すると、撮影画面で が点滅します。セットアップメニューの［**地域と日時**］で日時を設定してください（88）。

時計用電池について

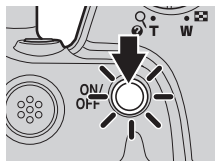
- カメラの時計は、カメラに入れる電池とは別のバックアップ用電池で動いています。
- バックアップ用電池は、カメラに電池を入れるかACアダプター（別売）を接続すると、約10時間で充電され、設定した日時を数日間、記憶できます。
- バックアップ用電池が切れたときは、電源をONにすると、日時を設定する画面が表示されます。日時を再設定してください。→「準備3　表示言語と日時を設定する」手順3（16）

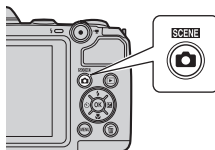
撮影日入りの画像をプリントするには

- 撮影前に、カメラの日時を正しく設定してください。
- セットアップメニュー（88）で［**デート写し込み**］を設定すると、撮影時に、画像に日付を写し込めます。
- ［**デート写し込み**］を設定しないで撮影した画像は、ソフトウェア「ViewNX 2」（73）を使うと、日付を入れてプリントできます。

ステップ1　電源をONにして、撮影モードを選ぶ

1　レンズキャップを外して、電源スイッチを押す

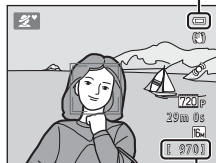
- レンズが繰り出し、液晶モニターが点灯します。
- ⚡（フラッシュポップアップ）ボタンを押して、フラッシュをポップアップしてください（📖5）。

2　📷ボタンを押す

- 撮影モードを選ぶ画面（撮影モードメニュー）が表示されます。

3　マルチセレクターの ▲ または ▼ で撮影モードを選び、🆗ボタンを押す

- ここでは、📷（らくらくオート撮影）モードを例に説明します。

4 電池残量表示と記録可能コマ数を確認する

電池残量表示

表示	意味
(電池マーク)	電池残量はあります。
(電池マーク)	電池残量が少なくなりました。 電池交換の準備をしてください。
電池残量がありません	撮影できません。 電池を交換してください。

記録可能コマ数

撮影できる残りのコマ数が表示されます。

- SDカードをカメラに入れていないときは、INが表示され、画像を内蔵メモリー（約50 MB）に記録します。
- 記録可能コマ数は、内蔵メモリーまたはSDカードのメモリー残量と、画質/画像サイズ（画像モード）で異なります（□63）。

撮影と再生の基本ステップ

フラッシュについて

暗いところや逆光など、フラッシュを使って撮影したいときは、⚡（フラッシュポップアップ）ボタンを押して、フラッシュをポップアップしてください（□5、51）。
フラッシュは、自動的にポップアップしません。閉じているときは、どのようなシーンでも発光しません。

電源のON/OFFについて

- レンズキャップを外してから、電源をONにします。
- 電源をONにすると、電源ランプ（緑色）が点灯し、液晶モニターが点灯します（液晶モニターが点灯すると、電源ランプは消灯します）。
- 電源をOFFにするには、電源スイッチを押します。電源をOFFにすると、電源ランプと液晶モニターが消灯します。
- ▶（再生）ボタンを長押しすると、再生モードで電源がONになります。このとき、レンズは繰り出しません。

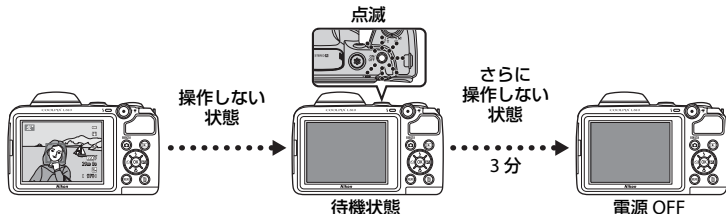
［レンズキャップを取り外してから、電源を入れなおしてください］が表示されたときは

レンズキャップが外れていることを確認してから、電源を入れ直してください。

節電機能について（オートパワーオフ）

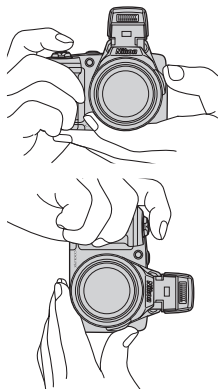
カメラを操作しない状態が続くと、液晶モニターが消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。

待機中に液晶モニターを再点灯するには、以下のボタンのいずれかを押します。

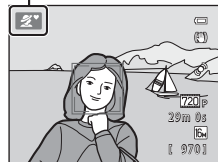
→ 電源スイッチ、シャッターボタン、📷（撮影モード）ボタン、▶（再生）ボタン、または●（動画撮影）ボタン

- 待機状態になるまでの時間は、セットアップメニュー（□88）の［**オートパワーオフ**］で変更できます。
- 初期設定では、撮影時または再生時は、約30秒で待機状態になります。
- ACアダプター EH-67（別売）使用時は、30分（固定）で待機状態になります。

ステップ2　カメラを構え、構図を決める

1　カメラをしっかりと構える

- レンズやフラッシュ、AF補助光、マイクなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。

2　構図を決める

- カメラが撮影シーンを自動判別すると、撮影モードアイコンが切り換わります（□34）。
- カメラが人物の顔を認識したときは、顔に黄色い二重枠のAF（オートフォーカス）エリアが表示されます。
- 人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、画面中央にピントを合わせるAFエリアが表示されます。写したいもの（被写体）を画面の中央付近に合わせてください。

撮影モードアイコン

らくらくオート撮影モードのご注意

- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、他の撮影モードに切り換えて撮影してください（□34、35、44、48）。
- 電子ズーム使用時は、撮影シーンの判別はになります。

三脚の使用について

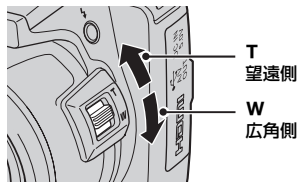
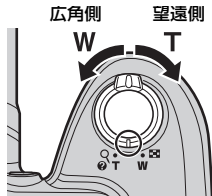
- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
  - 暗い場所で撮影するとき、フラッシュモード（□53）を（発光禁止）にして撮影するとき
  - 望遠側で撮影するとき
- 三脚などに固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□88）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

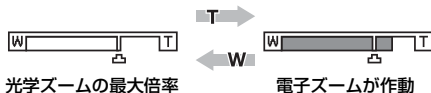
ズームを使う

ズームレバーを回すと、光学ズームが作動します。

- 被写体を大きく写す：**T**（望遠）方向に回す。
- 広い範囲を写す：**W**（広角）方向に回す。
  電源をONにしたときは、最も広角側になっています。

- サイドズームレバー（□2）を**T**または**W**方向に操作しても、ズームの操作ができます。

- ズーム操作をすると、液晶モニターの画面上部にズームの量が表示されます。

電子ズームについて

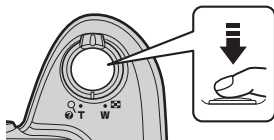
光学ズームを最も望遠側（光学ズームの最大倍率）にして、さらにズームレバーまたはサイドズームレバーを**T**方向に操作し続けると、電子ズームが作動します。
電子ズームは、光学ズームの最大倍率の約4倍まで拡大できます。

- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。

電子ズームと画質の劣化について

電子ズームは光学ズームとは異なり、画像をデジタル処理で拡大するため、使用する画像モード（□62）や電子ズームの倍率によって、画質が劣化します。
ズーム表示の凸マークは、静止画の撮影で画質の劣化が始まるズーム位置を示しています。このマークを越えてズーム倍率を上げると劣化が始まり、ズーム表示も黄色に変わります。
凸マークの位置は画像サイズが小さいほど右に移動しますので、設定した画像モードで画質を劣化させずに静止画を撮影できるズーム位置を事前に確認できます。

画像サイズが小さい場合

ステップ3　ピントを合わせ、シャッターをきる

1　シャッターボタンを半押しする（□27）

- 顔認識した場合：
  二重枠のAFエリアで囲まれた顔にピントが合います。ピントが合うと二重枠が緑色になります。

- 顔認識していない場合：
  画面中央にピントを合わせるAFエリアが表示されます。ピントが合うとAFエリアが緑色になります。

- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示（□6）が緑色に点灯します。
- 半押しして、AFエリアまたはAF表示が赤色に点滅したときはピントが合っていません。構図を変えて、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。

2　シャッターボタンを全押しする（□27）

- シャッターがきれ、画像が記録されます。

シャッターボタンの半押しと全押し

半押し		シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。 半押しするとピントと露出（シャッタースピードと絞り値）が合います。半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。
全押し		半押しの状態から、そのまま深く押し込む（全押しする）と、シャッターがきれます。 シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。

撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。**電池/SDカードカバーを開けないでください。**撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。
また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、オート撮影モードなどで、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影（□66）をお試しください。

顔認識機能についてのご注意

詳しくは、「顔認識撮影について」（□65）をご覧ください。

AF補助光とフラッシュについて

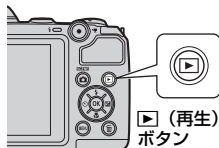
暗い場所などでは、シャッターボタンを半押ししたときにAF補助光（□88）が点灯することや、全押ししたときにフラッシュ（□51）が発光することがあります。

シャッターチャンスを優先する撮影では

シャッターチャンスが重要な撮影では、半押しせずに、全押ししてもシャッターをきれます。

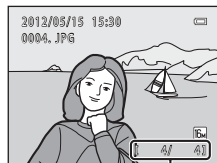
ステップ4　画像を再生する

1　▶（再生）ボタンを押す

- 再生モードに切り換わり、最後に保存した画像を1コマ表示します。

2　マルチセレクターで前後の画像を表示する

- 前の画像を表示する：▲または◀
- 次の画像を表示する：▼または▶

- 内蔵メモリーに保存した画像を再生するときは、SDカードを取り出します。「画像の番号/全画像数」にINが表示されます。
- 撮影に戻るには、◘ボタン、シャッターボタン、または●（動画撮影）ボタンを押します。

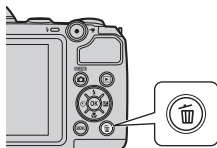
撮影と再生の基本ステップ

画像の再生について

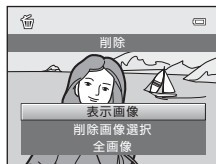
- 前後の画像に切り換えた直後は、表示が粗いことがあります。
- 顔認識（□65）またはペット検出（□42）して撮影した画像は、再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます。

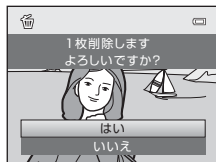
関連ページ

- 拡大表示→□68
- サムネイル表示/カレンダー表示→□69
- 再生モードで使える機能（再生メニュー）→□70

ステップ5　画像を削除する

1　削除したい画像を表示して🗑ボタンを押す

2　マルチセレクターの▲または▼で削除方法を選び、OKボタンを押す

- ［**表示画像**］：表示している1コマを削除します。
- ［**削除画像選択**］：複数の画像を選んで削除します（📖32）。
- ［**全画像**］：すべての画像を削除します。
- 削除をやめるには、MENUボタンを押します。

3　▲または▼で［はい］を選び、OKボタンを押す

- 削除した画像は、もとに戻せません。
- 削除をやめるときは、▲または▼で［**いいえ**］を選び、OKボタンを押します。

削除画像選択画面の操作方法

1 マルチセレクターの◀または▶で削除したい画像を選び、▲で✓を表示する

- 選択を解除するときは、▼を押して✓を非表示にします。
- ズームレバー（□2）を**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと一覧表示に切り換わります。

2 削除したい画像すべてに✓を表示し、OKボタンを押して選択を決定する

- 確認画面が表示されます。画面の表示に従って操作してください。

画像削除についてのご注意

- 削除した画像はもとに戻せません。残しておきたい画像はパソコンなどに保存することをおすすめします。
- プロテクト設定（□70）した画像は、削除されません。

撮影モードで画像を削除する

撮影モードで🗑ボタンを押すと、最後に保存した画像を削除できます。

いろいろな撮影

この章では、各撮影モードの特徴や、撮影モードで使える機能などを説明しています。
撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変えると、撮影方法や画像の仕上がりを工夫できます。

(らくらくオート撮影)モード

構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに合った設定で撮影ができます。

撮影画面にする ➔ (撮影モード)ボタン ➔ (らくらくオート撮影)モード ➔ ボタン

自動判別するシーンについて

カメラを被写体に向けると、以下の撮影シーンに合わせた設定に自動的に切り換わります。

- ポートレート(36)
- 風景(36)
- 夜景ポートレート(37)
- 夜景 (39)
- クローズアップ(39)
- 逆光(40)
- その他の撮影シーン

(らくらくオート撮影)モードの設定を変える

- 判別されるシーンによっては、マルチセレクターの▲()、◀()または▶()の機能を設定できます。→「マルチセレクターで設定できる機能」(50)、「初期設定一覧」(60)
- MENUボタンで設定できる機能→画像サイズと画質の組み合わせ(画像モード)を設定できます(62)。

シーンモード（シーンに合わせて撮影する）

撮影シーンを以下から選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。

撮影画面にする ➔ （撮影モード）ボタン ➔ （上から2番目のアイコン※）➔ ▶ ➔ ▲、▼、◀、▶ ➔ シーンを選択する ➔ ⓀKボタン

※ 前回選んだシーンのアイコンが表示されます。

ポートレート（初期設定）（□36）	風景（□36）	スポーツ（□37）	夜景ポートレート（□37）
パーティー（□37）	ビーチ（□38）	雪（□38）	夕焼け（□38）
トワイライト（□38）	夜景（□39）	クローズアップ（□39）	料理（□39）
ミュージアム（□40）	打ち上げ花火（□40）	モノクロコピー（□40）	逆光（□40）
パノラマアシスト（□41）	ペット（□42）	3D 3D撮影（□43）	

各シーンの説明を見るには（ヘルプ表示）

シーンを選ぶ画面でシーンの種類を選び、ズームレバー（□2）を**T**（?）方向に回すと、そのシーンの説明を表示できます。もとの画面に戻るには、もう一度ズームレバーを**T**（?）方向に回します。

シーンモードの設定を変える

- シーンによっては、マルチセレクターの▲（⚡）、▼（🌷）、◀（⏱）または▶（☒）の機能を設定できます。→「マルチセレクターで設定できる機能」（📖50）、「初期設定一覧」（📖60）
- MENUボタンで設定できる機能→画像サイズと画質の組み合わせ（画像モード）を設定できます（📖62）。

シーンモードの種類と特徴

ポートレート

人物のポートレート撮影に使います。

- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（📖65）。
- 美肌機能で人物の肌（顔）をなめらかにします（📖47）。
- 顔を認識しないときは、画面中央の被写体にピントが合います。
- 電子ズームは使えません。

風景

自然の風景や街並みなどを、色鮮やかに撮影したいときに使います。

- シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（📖7）が緑色に点灯します。

[三脚]：[三脚]が記載されているシーンでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（📖88）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

スポーツ

運動会などスポーツ写真を撮影するときに使います。動きのある被写体の一瞬の動きを連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 連写するには、シャッターボタンを全押しし続けます。約 1.2 コマ / 秒の速さで約 4 コマまで連写できます（[**画像モード**] が 16M のとき）。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。
- 連写した画像のピント、露出および色合いは、1 コマ目と同じ条件に固定されます。
- 画像モード、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。

夜景ポートレート

夕景や夜景を背景にした人物撮影に使います。背景の雰囲気を活かしながら人物をフラッシュ撮影します。

- フラッシュをポップアップしてから撮影してください。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（□65）。
- 美肌機能で人物の肌（顔）をなめらかにします（□47）。
- 顔を認識しないときは、画面中央の被写体にピントが合います。
- 電子ズームは使えません。

パーティー

パーティー会場などでの撮影に使います。キャンドルライトなどの背景を活かして、雰囲気のある画像に仕上げます。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□88）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

ビーチ

晴天の海や砂浜、湖などを明るく鮮やかに撮影したいときに使います。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

雪

晴天の雪景色を明るく鮮やかに撮影したいときに使います。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

夕焼け

赤い夕焼けや朝焼けの撮影に使います。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

トワイライト

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中での風景撮影に使います。

- シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（□7）が緑色に点灯します。

：が記載されているシーンでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□88）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

夜景

遅いシャッタースピードで夜景の雰囲気を表現します。

- シャッターボタンを半押しすると、常に AF エリアまたは AF 表示（7）が緑色に点灯します。

クローズアップ

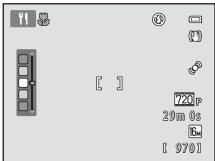
草花や昆虫、小さな被写体などの接写（近接撮影）に使います。

- マクロモード（57）が ON になり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。フォーカスロックを使うと、構図を工夫して撮影できます（66）。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

料理

料理の撮影に使います。

- マクロモード（57）が ON になり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。

- 色合いをマルチセレクターの ▲▼ で調節できます。色合いの設定は、電源を OFF にしても記憶されます。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。フォーカスロックを使うと、構図を工夫して撮影できます（66）。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

ミュージアム

フラッシュ撮影が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で使います。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- シャッターボタンを全押しし続けると、最大 10 コマ連写し、最も鮮明に撮れている1コマだけをカメラが自動で選んで記録します（BSS（ベストショットセレクター））。

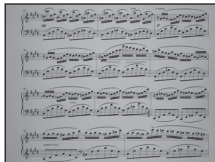
打ち上げ花火 ［三脚］

遅いシャッタースピードで、打ち上げ花火を撮影します。

- ピントは、遠景に固定されます。
- シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（□7）が緑色に点灯します。

モノクロコピー

ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影したいときに使います。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 近くのものを撮影するときは、マクロモード（□57）を併用してください。

逆光

逆光状態での撮影に使います。フラッシュが常に発光し、人物が陰にならずに撮影できます。

- フラッシュをポップアップしてから撮影してください。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

［三脚］：［三脚］が記載されているシーンでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□88）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

🕮 パノラマアシスト

パノラマ写真用の画像を複数撮影し、パソコンでパノラマ写真に合成したいときに使います。

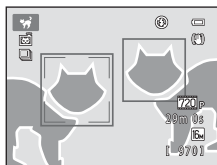
- 画像をつなげる方向をマルチセレクターの ▲▼◀▶ で選び、㊍ ボタンを押します。
- 1 コマ目を撮影したら、画面の表示でつなぎ目を確認しながら必要なコマ数を撮影します。撮影を終了するには、㊍ ボタンを押します。
- 撮影した画像は、パソコンに取り込んで、ソフトウェア「Panorama Maker 6」（🕮75）で合成してください。

ペット

犬または猫の撮影に使います。カメラが犬または猫の顔を検出し、その顔にピントを合わせます。ピントが合うと、初期設定では自動でシャッターをきります（ペット自動シャッター）。

- シーンモードの［**ペット**］を選ぶと表示される画面で、［**単写**］または［**連写**］を選びます。
  - ［**単写**］：1 コマずつ撮影します。
  - ［**連写**］：検出した顔にピントが合うと、3 コマ連写します（連写速度：［**画像モード**］が［**4608 × 3456**］のとき約 1.2 コマ / 秒）。

- 検出した顔は、二重枠の AF エリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が緑色になります。
  最大 5 匹の顔を同時に検出します。顔を複数検出したときは、画面内で最も大きい顔が二重枠の AF エリア表示で、それ以外の顔が一重枠で囲まれます。
- ペットを検出していないときも、シャッターボタンを押すとシャッターをきれます。
  - ペットを検出していないときは、画面中央の被写体でピントを合わせます。
  - ［**連写**］設定時は、シャッターボタンを全押ししている間、最大約 1.2 コマ / 秒で約 4 コマ連写できます（［**画像モード**］が［**4608 × 3456**］のとき）。
- マルチセレクターの ◀（Ꝋ）を押すと、自動シャッターの設定を変更できます。［**OFF**］にするとシャッターボタンのみでシャッターをきります。
- 以下の場合は［**ペット自動シャッター**］が自動的に［**OFF**］になります。
  - 自動シャッターによる連写を 5 回繰り返したとき
  - 撮影中に内蔵メモリーまたは SD カードの残量がなくなったとき

  ［**ペット自動シャッター**］での撮影を続けるときは、マルチセレクターの◀（Ꝋ）を押し、再設定してください。
- 電子ズームは使えません。
- ペットとの距離、ペットの動く速さ、顔の向きや明るさなど、撮影条件によっては、犬や猫を検出しないことや、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。

3D 3D撮影

3D対応のテレビやモニターで、立体で表示可能な3D画像の撮影に使います。立体で表示するため、左目用と右目用の2コマを撮影します。
保存される画像サイズは16:9 2M（1920×1080）になります。

- 1 コマ目を撮影したら、画面のガイドに被写体が重なるようにカメラを右に水平移動します。2 コマ目は自動的にシャッターがきれます。
- ピントは、1 コマ目の撮影時に画面中央のエリアで合わせます。
  2 コマ目は、1 コマ目と同じピントと露出およびホワイトバランスで撮影します。
- 電子ズームは使えません。
- 望遠側のズーム位置は、35mm 判換算で 132 mm 相当の撮影画角までに制限されます。
- 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 撮影した 2 コマは、左目用と右目用を含む 3D 画像（MPO ファイル）として保存されます。このとき、1 コマ目（左目用）の JPEG ファイルも同時に保存されます。
- カメラのモニターでは 3D（立体）で再生できません。左目用の画像のみで再生されます。
- 3D 画像を 3D（立体）で再生するには、カメラと 3D 対応のテレビまたはモニターを、3D 対応の HDMI ケーブルで接続し、セットアップメニュー（□88）の［**TV 出力設定**］は、以下に設定してください。
  - ［**HDMI**］:［**オート**］（初期設定）または［**1080i**］
  - ［**HDMI 3D 出力**］:［**ON**］（初期設定）
- 3D 画像を 3D（立体）で再生しているときは、3D 以外の画像との表示の切り換えに時間がかかることがあります。

3D再生についてのご注意

3D画像を3D対応のテレビまたはモニターで長時間見続けると、眼の疲労や、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。お使いのテレビまたはモニターの説明書をよくご覧になり、適切に使用してください。

ベストフェイスモード（笑顔を撮影する）

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます（笑顔自動シャッター）。美肌機能で人物の肌（顔）をなめらかにできます。

撮影画面にする ➔ ◘（撮影モード）ボタン ➔ ☺ ベストフェイスモード➔ ⓀⓀボタン

1 構図を決める

- フラッシュを使うときは、フラッシュをポップアップします（□5）。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔が黄色い二重枠のAFエリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が一瞬緑色になりピントが固定されます。
- 最大3人の顔を認識します。複数の顔を認識したときは、最も画面の中央に近い顔が二重枠のAFエリア表示で囲まれ、他の顔が一重枠で囲まれます。

2 シャッターボタンを押さずに笑顔を待つ

- ［**笑顔自動シャッター**］（□46）により、カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- シャッターがきれるたびに、顔認識と笑顔検出による自動撮影を繰り返します。

3 撮影を終了する

- 笑顔検出による自動撮影を終了するには、以下のいずれかの操作を行います。
  - 電源をOFFにする
  - ［**笑顔自動シャッター**］（□46）を［**OFF**］にする
  - ◘ボタンを押して他の撮影モードに切り換える

ベストフェイスモードについてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- 撮影条件などによっては、適切に顔の認識や笑顔の検出ができないことがあります。
- 「顔認識機能についてのご注意」→□65

笑顔自動シャッター使用時の節電機能について

［**笑顔自動シャッター**］が［**ON**］のときは、カメラを操作しないまま以下の状態が続くと、オートパワーオフ（□88）が作動して、電源がOFFになります。

- カメラが顔を認識しない。
- カメラが顔を認識していても、笑顔を検出できない。

セルフタイマーランプの点滅について

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。

手動でシャッターをきるには

シャッターボタンを押してもシャッターがきれます。顔認識していないときは、画面中央の被写体にピントが合います。

ベストフェイスモードの設定を変える

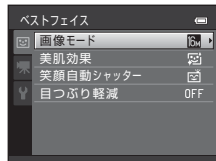
- マルチセレクターで設定できる機能（□50）→フラッシュモード（□51）、セルフタイマー（□55）、露出補正（□59）
- MENUボタンで設定できる機能→ベストフェイスメニューの種類（□46）

同時に設定できない機能

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□64）。

ベストフェイスメニューの種類

ベストフェイスモードでは、以下の項目の設定が変更できます。

ベストフェイスモードの撮影画面にする（44）→ MENUボタン → タブ

項目	内容
画像モード	記録する画像サイズと画質の組み合わせを選びます（62）。設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります。
美肌効果	美肌の効果を設定します。人物の肌（顔）をなめらかにします。初期設定は［**ON**］です。
笑顔自動シャッター	［**ON**］（初期設定）にすると、顔認識した人物の笑顔を検出するたびに、カメラが自動でシャッターをきります。セルフタイマーは同時に使えません。
目つぶり軽減	［**ON**］にすると、撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。 ［**ON**］にすると、フラッシュは使えません。 初期設定は［**OFF**］です。

同時に設定できない機能

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（64）。

美肌機能について

以下の撮影モードでは、シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し（最大3人）、画像処理で肌（顔）をなめらかにします。

- （らくらくオート撮影）モードの［**ポートレート**］（□36）または［**夜景ポートレート**］（□37）
- シーンモードの［**ポートレート**］（□36）または［**夜景ポートレート**］（□37）
- ベストフェイスモード（□44）

撮影後にも、記録した画像に美肌の編集ができます（□70）。

美肌機能についてのご注意

- 撮影後の画像の記録時間は、通常より長くなることがあります。
- 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。

◘（オート撮影）モード

基本的な撮影ができます。また、撮影メニュー（□49）の項目を撮影状況や撮影意図に合わせて設定できます。

撮影画面にする ➔ ◘（撮影モード）ボタン ➔ ◘（オート撮影）モード ➔ ®ボタン

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

◘（オート撮影）モードの設定を変える

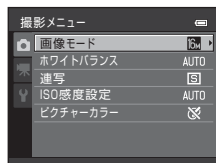
- マルチセレクターで設定できる機能（□50）→フラッシュモード（□51）、セルフタイマー（□55）、マクロ（□57）、露出補正（□59）
- MENUボタンで設定できる機能→オート撮影メニューの種類（□49）

同時に設定できない機能

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□64）。

オート撮影メニューの種類

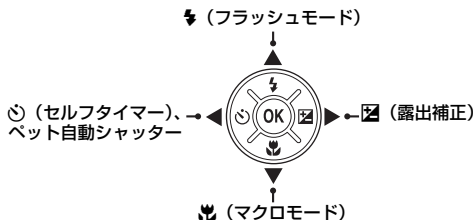
（オート撮影）モードでは、以下の項目の設定が変更できます。

（オート撮影）モードの撮影画面にする（48）→ MENUボタン → タブ

項目	内容
画像モード	記録する画像サイズと画質の組み合わせを選びます（62）。この設定は、他の撮影モードにも適用されます。
ホワイトバランス	画像を見た目に近い色で記録するように、光源に合わせてホワイトバランスを設定します。［**オート**］（初期設定）、［**プリセットマニュアル**］、［**晴天**］、［**電球**］、［**蛍光灯**］、［**曇天**］または［**フラッシュ**］から選べます。
連写	連続撮影の設定をします。［**単写**］（初期設定）、［**連写**］、［**BSS**］または［**マルチ連写**］から選べます。
ISO感度設定	被写体の明るさなどに応じて、ISO感度を設定します。［**オート**］（初期設定）または［**80**、**100**、**200**、**400**、**800**、**1600**］から選んで固定できます。［**オート**］では、カメラが自動でISO感度を設定し、ISO感度が高くなると撮影画面にISOが表示されます。
ピクチャーカラー	画像の色調を、［**標準カラー**］（初期設定）、［**ビビッドカラー**］、［**白黒**］、［**セピア**］または［**クール**］から選べます。

同時に設定できない機能

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（64）。

マルチセレクターで設定できる機能

撮影時にマルチセレクターの▲、▼、◀、▶を押すと、以下の機能を設定できます。

設定できる機能の種類

設定できる機能は、撮影モードによって、以下のように異なります。

- 各撮影モードの初期設定は「初期設定一覧」（□60）をご覧ください。

		（らくらくオート撮影）	シーン	ベストフェイス	（オート撮影）
	フラッシュモード※1（□51）	○※2	※3	○※4	○
	セルフタイマー（□55）	○		○※4	○
	ペット自動シャッター（□42）	×		×	×
	マクロ（□57）	×		×	○
	露出補正（□59）	○		○	○

※1 フラッシュをポップアップすると設定できます。フラッシュを閉じているときは （発光禁止）に固定されます。

※2 自動判別されるシーンによって異なります。→「初期設定一覧」（□60）

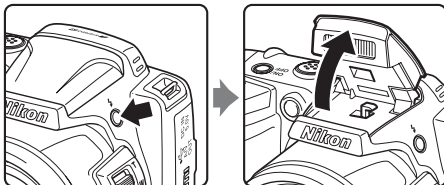
※3 シーンによって異なります。→「初期設定一覧」（□60）

※4 ベストフェイスメニューの設定によって異なります。→「初期設定一覧」（□60）

フラッシュを使う（フラッシュモード）

暗いところや逆光などでは、フラッシュをポップアップするとフラッシュ撮影ができます。
フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を設定できます。

1 ⚡（フラッシュポップアップ）ボタンを押す

- フラッシュがポップアップします。
- フラッシュを閉じているときは㊋（発光禁止）に固定されます。

2 マルチセレクターの▲（⚡ フラッシュモード）を押す

3 マルチセレクターの▲または▼でモードを選び、 ⊛ボタンを押す

- フラッシュモードの種類→□53
- ⊛ ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。
- $AUTO（自動発光）にすると［**モニター設定**］（□88）にかかわらず、$AUTOは数秒間で消えます。

いろいろな撮影

フラッシュの収納

フラッシュを使わないときは、カチッと音がするまでフラッシュを手で軽く押し下げ、閉じてください（□5）。

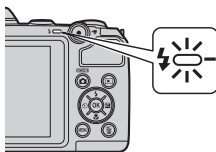
フラッシュランプについて

シャッターボタンの半押し時に、フラッシュの状態を確認できます。

- 点灯：撮影時にフラッシュが発光します。
- 点滅：フラッシュが充電中のため、撮影できません。
- 消灯：撮影時にフラッシュは発光しません。

電池残量が少なくなると、フラッシュの充電中は液晶モニターが消灯します。

フラッシュの光が届く距離

フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約0.5～5.0 m、望遠側で約1.5～2.5 mです（ISO感度設定がオート時）。

フラッシュモードの種類

$AUTO	**自動発光**
	暗い場所などで、自動的にフラッシュを発光します。
赤目軽減アイコン	**赤目軽減自動発光**
	人物撮影に適しており、フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します（□54）。
発光禁止アイコン	**発光禁止**
	フラッシュは発光しません。 ・ 暗い場所で撮影するときは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
強制発光アイコン	**強制発光**
	被写体の明るさに関係なく、フラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
スローシンクロアイコン	**スローシンクロ**
	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。 夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

フラッシュモードの設定について

- 設定は、撮影モードによって異なります。
  →「設定できる機能の種類」（📖50）
  →「初期設定一覧」（📖60）
- 他の機能と組み合わせて使えない設定があります（📖64）。
- 📷（オート撮影）モードの場合、変更したフラッシュモード設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

赤目軽減自動発光について

このカメラは、「**アドバンスト赤目軽減方式**」を採用しています。
フラッシュが本発光する前に、小光量で数回発光する「プリ発光」で赤目現象の発生を軽減します。
さらに、画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。
撮影する際は、以下にご注意ください。

- プリ発光するため、シャッターボタンを押してから、シャッターがきれるまでに、通常よりも時間がかかります。
- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

セルフタイマーを使う

シャッターボタンを押してから約10秒後にシャッターをきります。
自分も一緒に写りたいときや、シャッターボタンを押す操作による手ブレを軽減したいときに使うと便利です。セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□88）の［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

1 マルチセレクターの◀（ セルフタイマー）を押す

2 マルチセレクターの▲または▼で[**ON**]を選び、Ⓚボタンを押す

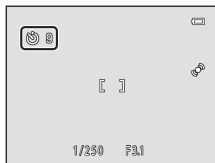
- 10が表示されます。
- Ⓚボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。
- 撮影モードがシーンモードの［**ペット**］のときは、（ペット自動シャッター）が表示されます（□42）。セルフタイマーは使えません。

3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。

いろいろな撮影

4 シャッターボタンを全押しする

- セルフタイマーが作動し、シャッターがきれるまでの秒数が液晶モニターに表示されます。作動中はセルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは［**OFF**］になります。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

マクロ（接写）モードを使う

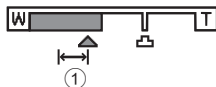
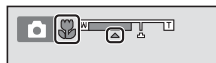
最短で、レンズ前約1 cmまでの被写体にピント合わせができます。
草花などの小さな被写体を大きく写したいときなどに便利です。

1 マルチセレクターの▼（マクロモード）を押す

2 マルチセレクターの▲または▼で [ON] を選び、ボタンを押す

- マークが表示されます。
- ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

3 ズームレバーまたはサイドズームレバーを操作し、マークやズーム表示が緑色になるズーム位置にする

- 被写体に近づいて撮影できる距離は、ズーム位置によって異なります。
  マークやズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約10 cmまでの被写体にピント合わせができます。
- ①のズーム範囲では、レンズ前約1 cmまでの被写体にピント合わせができます。

フラッシュ撮影についてのご注意

撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

オートフォーカスについて

静止画を撮影する場合、マクロモードにすると、シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、オートフォーカスによるピント合わせを自動的に繰り返します。常にピントを合わせる動作音がします。

マクロモードの設定について

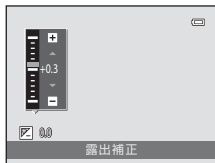
- 撮影モードによっては、マクロモードを使えません。→「初期設定一覧」（□60）
- （オート撮影）モードの場合、マクロモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

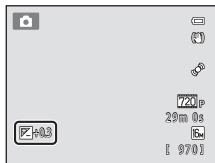
明るさを調整する（露出補正）

画像全体の明るさを明るく、または暗く調整できます。

1 マルチセレクターの▶（露出補正）を押す

2 マルチセレクターの▲または▼で補正値を選ぶ

- 被写体を明るくしたいとき：補正値を「+」側に設定します。
- 被写体を暗くしたいとき：補正値を「－」側に設定します。

3 ⓞボタンを押して補正値を決定する

- ⓞボタンを押さないまま数秒経過すると、選択が決定されて設定メニューが消えます。
- ［**0.0**］以外に設定すると、液晶モニターにマークと補正値が表示されます。

4 シャッターボタンを押して撮影する

- 露出補正を解除するには、手順1に戻って補正値を［**0.0**］にします。

露出補正の設定について

（オート撮影）モードの場合、露出補正の設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュ※1 （□51）	セルフタイマー （□55）	マクロ （□57）	露出補正 （□59）
（らくらくオート撮影）（□34）	⚡AUTO※2	OFF	OFF※3	0.0
（ベストフェイス）（□44）	⚡AUTO※4	OFF※5	OFF※6	0.0
（オート撮影）（□48）	⚡AUTO	OFF	OFF	0.0
シーン				
（□36）	⚡◎	OFF	OFF※6	0.0
（□36）	⊛※6	OFF	OFF※6	0.0
（□37）	⊛※6	OFF※6	OFF※6	0.0
（□37）	⚡◎※7	OFF	OFF※6	0.0
（□37）	⚡◎※8	OFF	OFF※6	0.0
（□38）	⚡AUTO	OFF	OFF※6	0.0
（□38）	⚡AUTO	OFF	OFF※6	0.0
（□38）	⊛※6	OFF	OFF※6	0.0
（□38）	⊛※6	OFF	OFF※6	0.0
（□39）	⊛※6	OFF	OFF※6	0.0
（□39）	⊛	OFF	ON※6	0.0
（□39）	⊛※6	OFF	ON※6	0.0
（□40）	⊛※6	OFF	OFF	0.0
（□40）	⊛※6	OFF※6	OFF※6	0.0※6
（□40）	⊛	OFF	OFF	0.0
（□40）	⚡※6	OFF	OFF※6	0.0
（□41）	⊛	OFF	OFF	0.0

	フラッシュ※1（□51）	セルフタイマー（□55）	マクロ（□57）	露出補正（□59）
🐈（□42）	⊛※6	🐱※9	OFF	0.0
3D（□43）	⊛※6	OFF※6	OFF	0.0

※1 フラッシュをポップアップしているときの設定です。

※2 ⚡AUTO（自動発光）または⊛（発光禁止）を選べます。⚡AUTO（自動発光）にすると、自動判別されたシーンに合わせてカメラがフラッシュモードを設定します。

※3 変更できません。［**クローズアップ**］に判別されると、自動的にマクロモードになります。

※4 ［**目つぶり軽減**］が［**ON**］のときは使えません。

※5 ［**笑顔自動シャッター**］を［**OFF**］にすると設定できます。

※6 変更できません。

※7 変更できません。赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定されます。

※8 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。

※9 セルフタイマーは使えません。ペット自動シャッター（□42）のON/OFFを設定できます。

同時に設定できない機能

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□64）。

画像サイズ（画像モード）を変える

撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ 撮影メニュー ➔ 画像モード ➔ ⓀボタンⓄ

撮影メニューの［**画像モード**］で、記録時の画像サイズ（画像の大きさ）と画質（画像の圧縮率）の組み合わせを選べます。
画像の用途や内蔵メモリー/SDカードの残量に合わせて設定してください。

画像モード（画像サイズ/画質）の種類

画像モード※	内容
16M★ 4608×3456★	16Mよりも高画質な画像になります。圧縮率は約1/4です。
16M 4608×3456（初期設定）	ファイルサイズと画質のバランスが良く、一般的な撮影に適しています。圧縮率は約1/8です。
8M 3264×2448	
4M 2272×1704	
2M 1600×1200	16M、8M、4Mよりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。圧縮率は約1/8です。
VGA 640×480	電子メールへの添付や画面の縦横比が4:3のテレビへの表示に適しています。圧縮率は約1/8です。
16:9 12M 4608×2592	縦横比が16：9の画像を撮影できます。圧縮率は約1/8です。

※ 記録データの総画素数と長辺×短辺の画素数を表しています。
例：16M 4608 × 3456：約 16 メガピクセル＝ 4608 × 3456 ピクセル

画像モードの設定について

- 設定は、他の撮影モードにも適用されます。
- 他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□64）。
- シーンモードの［**3D撮影**］（□43）設定時は画像モードを選べません。

記録可能コマ数

内蔵メモリーや4 GBのSDカードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄で記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量のSDカードでも、カードの種類で、記録可能コマ数が異なります。

画像モード	内蔵メモリー（約50 MB）	SDカード※1（4 GB）	プリント時の大きさ※2
4608×3456★	約6コマ	約490コマ	約39×29 cm
4608×3456	約12コマ	約970コマ	約39×29 cm
3264×2448	約24コマ	約1910コマ	約28×21 cm
2272×1704	約48コマ	約3820コマ	約19×14 cm
1600×1200	約95コマ	約7240コマ	約13×10 cm
640×480	約256コマ	約27700コマ	約5×4 cm
4608×2592	約16コマ	約1290コマ	約39×22 cm

※1 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

※2 出力解像度を300 dpiに設定した場合のサイズです。
ピクセル数÷プリンター解像度（dpi）× 2.54 cmで計算しています。同じ画像サイズでも、高い解像度で印刷すると印刷サイズは小さくなり、低い解像度で印刷すると、印刷サイズは大きくなります。

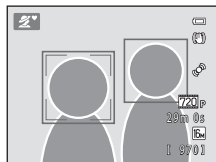
同時に設定できない機能

撮影時の設定には、他の機能と組み合わせて使えない設定があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュモード	連写（□49）	［**連写**］、［**BSS**］、または［**マルチ連写**］にして撮影するときは、フラッシュは使えません。
	目つぶり軽減（□46）	［**目つぶり軽減**］を［**ON**］にして撮影するときは、フラッシュは使えません。
セルフタイマー	笑顔自動シャッター（□46）	［**笑顔自動シャッター**］で撮影するときは、セルフタイマーは使えません。
電子ズーム	連写（□49）	［**マルチ連写**］にして撮影するときは、電子ズームは使えません。
画像モード	連写（□49）	［**マルチ連写**］で撮影するときは、［**画像モード**］は5M（画像サイズ：2560×1920ピクセル）に固定されます。
ホワイトバランス	ピクチャーカラー（□49）	［**白黒**］、［**セピア**］、または［**クール**］にして撮影するときは、［**ホワイトバランス**］は［**オート**］に固定されます。
連写	セルフタイマー（□55）	セルフタイマーで撮影するときは、［**単写**］に固定されます。
ISO感度設定	連写（□49）	［**マルチ連写**］で撮影するときは、［**ISO感度設定**］は明るさに応じて自動的に設定されます。
モーション検知	連写（□49）	［**マルチ連写**］で撮影するときは、［**モーション検知**］は作動しません。
	ISO感度設定（□49）	ISO感度を［**オート**］以外にすると、［**モーション検知**］は作動しません。
シャッター音	連写（□49）	［**連写**］、［**BSS**］または［**マルチ連写**］時は、シャッター音は鳴りません。

ピントについて

顔認識撮影について

以下の撮影モードでは、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。
複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。

撮影モード	認識する顔の数	AFエリア（二重枠）
（らくらくオート撮影）モードの［**ポートレート**］（□36）、［**夜景ポートレート**］（□37）	最大12人	カメラに最も近い顔
シーンモードの［**ポートレート**］（□36）、［**夜景ポートレート**］（□37）		
ベストフェイスモード（□44）	最大3人	画面中央に最も近い顔

- 顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。

顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。また、以下のような場合は、顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている
- 複数の人物がいた場合、どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどによっても異なります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（□28）の撮影では、二重枠が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。ピントが合わないときは、（オート撮影）モードなどで、等距離にある別の被写体でピントを合わせるフォーカスロック撮影（□66）をお試しください。

フォーカスロック撮影

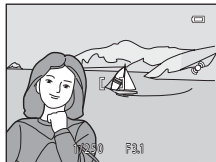
AF（オートフォーカス）エリアが画面中央でも、ピントを固定（フォーカスロック）する方法を使うと、構図を工夫して撮影できます。
ここでは、■（オート撮影）モードに設定した場合の操作方法を説明します。

1 被写体を画面中央に配置する

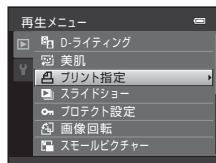
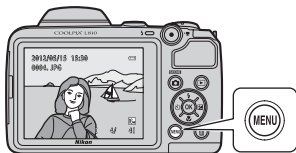
2 シャッターボタンを半押しする

- ピントが合い、AFエリア表示が緑色に点灯します。
- 露出も固定されます。

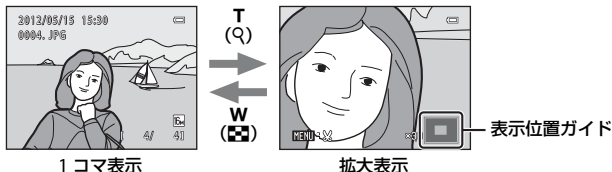
3 半押ししたまま構図を変える

- 被写体との距離は変えないでください。

4 シャッターボタンを全押しして撮影する

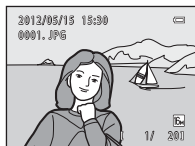
いろいろな再生

この章では、再生時に使える機能について説明しています。

拡大表示

再生モードの1コマ表示（□29）でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、表示中の画像の中央部が拡大表示されます。

1 コマ表示　拡大表示

- 拡大率を調節するには、ズームレバー（**W**（■）/**T**（Q））を操作します。約10倍まで拡大できます。
- 表示位置を移動するには、マルチセレクターの▲▼◀▶を押します。
- 顔認識（□65）またはペット検出（□42）して撮影した画像は、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示します。複数の顔を認識したときは、▲▼◀▶で、別の顔に移動できます。顔以外の位置を拡大するには、いったん拡大率を変更してから▲▼◀▶を押します。
- MENUボタンを押すと、表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます。
- ⓚボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。

サムネイル表示/カレンダー表示

再生モードの1コマ表示（📖29）でズームレバーを**W**（▦）方向に回すと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。

1 コマ表示　サムネイル表示（4コマ/9コマ/16コマ）　カレンダー表示

- 複数の画像を同時に表示するので、目的の画像を探しやすくなります。
- 表示コマ数は、ズームレバー（**W**（▦）/**T**（Q））で変更できます。
- マルチセレクターの▲▼◀ ▶で画像を選び Ⓚ ボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示します。
- サムネイル表示を16コマにした後、ズームレバーを**W**（▦）方向に回すと、「カレンダー表示」になります。
- カレンダー表示で▲▼◀ ▶を押して、日付を選んでⓀボタンを押すと、その日に撮影した最初の画像に移動して表示します。

カレンダー表示についてのご注意

日時を設定せずに撮影した画像は、カレンダー表示で「2012年1月1日」の画像として扱われます。

再生モードで使える機能（再生メニュー）

1コマ表示中またはサムネイル表示中にMENUボタン（□3）を押してメニュー画面を表示すると、以下のメニュー操作ができます。

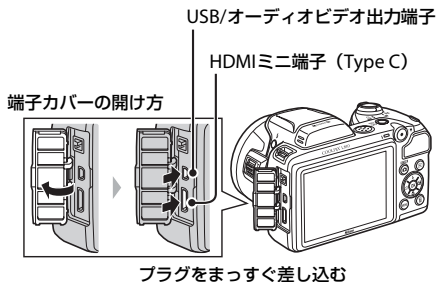
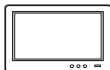
項目	内容
D-ライティング※1、2	逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正できます。
美肌※1、2	撮影した画像から人物の顔を検出して、肌（顔）をなめらかにします。
プリント指定※2	SDカードに記録した画像をプリンターでプリントするときに、どの画像を何枚プリントするかを設定します。
スライドショー	内蔵メモリー/SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。
プロテクト設定	大切な画像を誤って削除しないように、画像を保護できます。
画像回転※2	撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。
スモールピクチャー※1、2	撮影した画像から、サイズの小さい画像を作成します。ホームページで使ったり、電子メールへ添付したりするのに便利です。
画像コピー	内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。

※1 画像を編集し、元画像とは別に保存します。[**画像モード**]（□62）を［**4608×2592**］にして撮影した画像の編集ができない、同じ種類の編集の繰り返しができないなどの制限があります。

※2 シーンモードの［**3D撮影**］（□43）で撮影した画像は設定できません。

テレビ、パソコン、プリンターとの接続

テレビやパソコン、プリンターに接続すると、撮影した画像や動画をいろいろな方法で楽しむことができます。

- 外部機器と接続するときは、カメラの電池残量が充分にあることを確認し、必ず、カメラの電源をOFFにしてから接続してください。また、接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書もあわせてお読みください。

テレビで鑑賞する

撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。
接続方法：付属のオーディオケーブル（AVケーブル）EG-CP16の映像プラグと音声プラグ（ステレオ）をテレビの外部入力端子に接続します。または、市販のHDMIケーブル（Type C）を、テレビのHDMI入力端子に接続します。

パソコンで閲覧、管理する

🕮73

パソコンに転送すると、静止画や動画の再生だけではなく、簡易編集や画像データの管理ができます。
接続方法：付属のUSBケーブルをパソコンのUSB端子に接続します。

- パソコンと接続する前に付属 CD-ROM「ViewNX 2 Installer」を使って、ViewNX 2 をパソコンにインストールしてください。付属 CD-ROM「ViewNX 2 Installer」の使い方、パソコンへの簡単な転送手順については、73 ページをご覧ください。

パソコンを使わずにプリントする

PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像をプリントできます。
接続方法：付属のUSBケーブルをプリンターのUSB端子に接続します。

ViewNX 2を使う

ViewNX 2は、画像や動画の転送、閲覧、編集、共有、これら全てを可能とするオールインワンソフトです。
付属CD-ROM「ViewNX 2 Installer」からインストールできます。

ViewNX 2をインストールする

- **インストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。**

対応OS

Windows

- Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate（Service Pack 1）
- Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate（Service Pack 2）
- Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 3）

Macintosh

- Mac OS X（version 10.5.8、10.6.8、10.7.2）

対応OSに関する最新情報、動作環境については、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

1 パソコンを起動し、付属CD-ROM「ViewNX 2 Installer」をCD-ROMドライブに入れる

- Mac OS：［**ViewNX 2**］ウィンドウが表示されるので、ウィンドウ内の［**Welcome**］アイコンをダブルクリックします。

2 ［言語選択］ダイアログで言語を選択し、［Welcome］ウィンドウを開く

- ［**言語選択**］ダイアログのメニューに選択したい言語がない場合は、［**地域選択**］をクリックし、地域を選択してから言語を選択してください。
- ［**次へ**］をクリックすると、［**Welcome**］ウィンドウが開きます。

3 インストールを開始する

- インストールをする前に、［**Welcome**］ウィンドウの［**インストールガイド**］をクリックして、インストール方法のヘルプと動作環境を確認することをおすすめします。
- ［**Welcome**］ウィンドウの［**インストール（推奨）**］をクリックします。

4 ソフトウェアをダウンロードする

- ［**ソフトウェアのダウンロード**］画面が表示されたら、［**同意して、ダウンロード開始**］をクリックします。
- 画面の指示に従ってインストールを続けてください。

5 インストール終了画面が表示されたら、インストールを終了する

- Windows：［**はい**］をクリックします。
- Mac OS：［**OK**］をクリックします。

以下のソフトウェアがインストールされます。

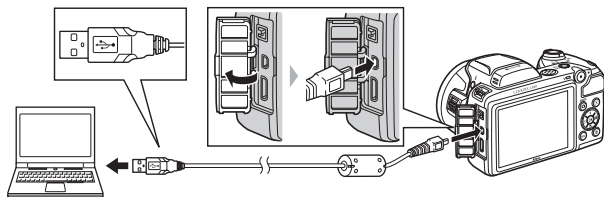
- ViewNX 2（以下の3つのモジュールで構成されています）
  - Nikon Transfer 2：画像をパソコンに取り込みます
  - ViewNX 2：取り込んだ画像の閲覧、編集、印刷ができます
  - Nikon Movie Editor：取り込んだ動画の簡易編集ができます
- Panorama Maker 6（シーンモードのパノラマアシストを使って撮影した画像をパノラマ写真に合成します）
- QuickTime（Windows のみ）

6 CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す

パソコンに画像を取り込む

1 画像の入ったSDカードを用意する

SD カード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込めます。

- SD カードを入れたカメラの電源をOFF にしてから、付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続し、カメラの電源をONにする。
  内蔵メモリー内の画像を取り込むには、カメラにSDカードを入れずにパソコンに接続します。

- カードスロットを装備したパソコンのときは､カードスロットに直接SDカードを差し込む。
- 市販のカードリーダーをパソコンに接続して、SD カードをセットする。

起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2 を選びます。

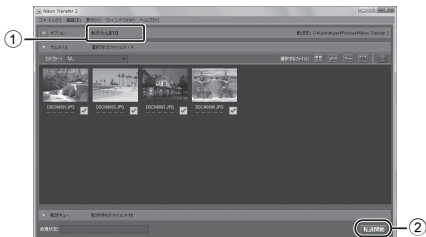
- **Windows 7 をお使いの場合**
  右の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。
  1［**画像とビデオのインポート**］の［**プログラムの変更**］をクリックすると表示される画面で、［**画像ファイルを取り込む - Nikon Transfer 2使用**］を選んで、［**OK**］をクリックする
  2［**画像ファイルを取り込む**］をダブルクリックする

SDカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

 USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

2 画像をパソコンに取り込む

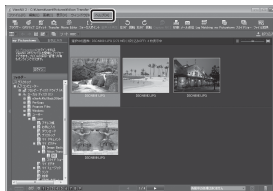
- Nikon Transfer 2の［**オプション**］の［**転送元**］に、接続したカメラ名またはリムーバブルディスクのデバイス名が表示されていることを確認します（①）。
- ［**転送開始**］ボタンをクリックします（②）。

- 記録されているすべての画像がパソコンに取り込まれます（ViewNX 2 の初期設定）。

3 接続を解除する

- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFF にして、USB ケーブルを抜きます。
- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはSDカードを取り外してください。

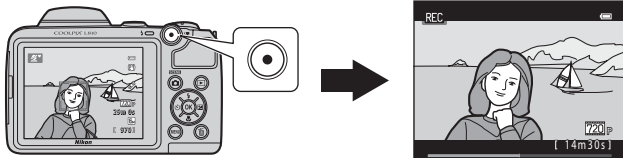
画像を見る

ViewNX 2 を起動する

- 画像の取り込みが終わると、ViewNX 2 が自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。
- ViewNX 2 の詳しい使い方は、ViewNX 2のヘルプを参照してください。

ViewNX 2 を手動で起動するには

- Windows：デスクトップの［**ViewNX 2**］のショートカットアイコンをダブルクリックします。
- Mac OS：Dock の［**ViewNX 2**］アイコンをクリックします。

動画を撮影、再生する

● （▶🎥動画撮影）ボタンを押すだけで、動画を撮影できます。

動画を撮影する

●（'▀動画撮影）ボタンを押すだけで、すぐに動画を撮影できます。

1 撮影画面を表示する

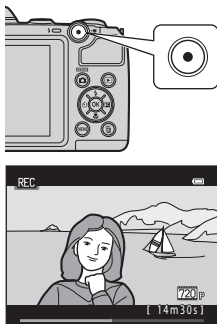
- 動画設定は、撮影する動画の種類を表します。初期設定は、［720p **HD 720p（1280×720）**］です（□83）。

2 フラッシュを閉じる（□5）

- フラッシュを開いていると録音の妨げになる場合があります。

3 ●（'▀動画撮影）ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- 画面中央でピントが合います。動画の撮影中は、AFエリアは表示されません。

- ［**動画設定**］が［720p **HD 720p（1280×720）**］の場合、撮影画面の縦横比が16：9に切り換わります。
- セットアップメニューの［**モニター設定**］（□88）の［**モニター表示設定**］で［**動画枠+情報AUTO**］にすると、動画撮影開始前に動画の写る範囲を確認できます。
- 内蔵メモリーへの記録中は、INが表示されます。

4 ●（▸🎥動画撮影）ボタンを押して撮影を終了する

撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。**電池/SDカードカバーを開けないでください。**撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

動画撮影についてのご注意

- 動画をSDカードに記録するときは、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします（📖15）。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 電子ズームを使うと、画質は劣化します。電子ズームを使わずに動画撮影を開始したときは、ズームレバーまたはサイドズームレバーを**T**方向に操作し続けると、光学ズームの最大倍率でズームが止まります。いったんズームレバーから指をはなして、もう一度**T**方向に操作すると電子ズームが作動します。
- 電子ズームは、動画撮影を終了するとキャンセルされます。
- ズームレバーなどの操作音やズーム、オートフォーカス、手ブレ補正、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画の撮影では、液晶モニターにスミア（☼3）が発生すると、記録される動画にもスミアの影響が残ります。スミアの影響を避けるため、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す被写体（布地や建物の格子窓など）に色の着いた縞模様（干渉縞、モアレ）が現れることがあります。これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故障ではありません。
- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがあります。

オートフォーカスについてのご注意

「オートフォーカスが苦手な被写体」（📖28）では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を動画で撮影するときは、以下の方法をお試しください。

1. 撮影前に動画メニューの［**AFモード**］をAF-S［**シングルAF**］（初期設定）にする（📖83）。
2. 等距離にある別の被写体を画面中央に配置して●（▸🎥動画撮影）ボタンを押し、動画撮影を開始してから構図を変える。

動画の記録可能時間

動画設定（□83）	内蔵メモリー（約50 MB）	SDカード（4 GB）※
720p HD 720p（1280×720）（初期設定）	約31秒	約45分
VGA VGA（640×480）	約1分17秒	約1時間50分

数値はおおよその目安です。同じ容量でもSDカードの種類によって記録可能時間は異なります。

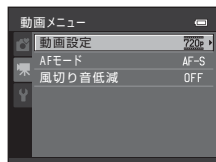
※ 1回の撮影で記録可能な時間は、SD カードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。

動画撮影で使える機能

- 露出補正、ホワイトバランス、およびピクチャーカラーの設定も撮影する動画に反映します。シーンモード（□35）での色合いも動画に反映します。マクロモードのときは、より被写体に近づいて動画を撮影できます。動画の撮影を開始する前に設定を確認してください。
- セルフタイマー（□55）を使えます。セルフタイマーを設定し、●（動画撮影）ボタンを押すと、10秒経過後に動画撮影を開始します。
- フラッシュは発光しません。
- 動画の撮影を開始する前にMENUボタンを押して、（動画）タブを選ぶと動画メニューの設定ができます（□83）。

動画撮影の設定を変える（動画メニュー）

撮影画面にする ➔ MENUボタン ➔ 動画タブ ➔ OKボタン

以下のメニュー項目の設定が変更できます。

項目	内容
動画設定	撮影する動画の種類を［**720p HD 720p（1280×720）**］、［**VGA VGA（640×480）**］から選べます。
AFモード	動画撮影開始時のピントに固定する**AF-S**［**シングルAF**］（初期設定）、または動画撮影中にピント合わせを繰り返す**AF-F**［**常時AF**］を選べます。 **AF-F**［**常時AF**］にすると、ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、**AF-S**［**シングルAF**］での撮影をおすすめします。
風切り音低減	動画撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定します。

動画を再生する

▶ボタンを押して再生モードにします。
動画設定（□83）のアイコンが表示されている画像が動画です。
Ⓚボタンを押すと、再生できます。

動画の削除

動画を削除するには、1コマ表示（□29）やサムネイル表示（□69）で動画を選んで🗑ボタンを押します（□31）。

動画再生中の操作

画面上部には操作パネルが表示されます。
マルチセレクターの◀▶を押して操作パネルのアイコンを選ぶと、以下の操作ができます。

機能	アイコン		内容
巻き戻し			Ⓚボタンを押している間、巻き戻します。
早送り			Ⓚボタンを押している間、早送りします。
一時停止			Ⓚボタンを押すと、一時停止します。一時停止中に画面上部の操作パネルのアイコンで以下の操作ができます。
			Ⓚボタンを押すと、コマ戻しします。押し続けると、連続してコマ戻しします。
			Ⓚボタンを押すと、コマ送りします。押し続けると、連続してコマ送りします。
			Ⓚボタンを押すと、再生を再開します。
			Ⓚボタンを押すと、動画の必要な部分だけを切り出して保存します。
再生終了			Ⓚボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。

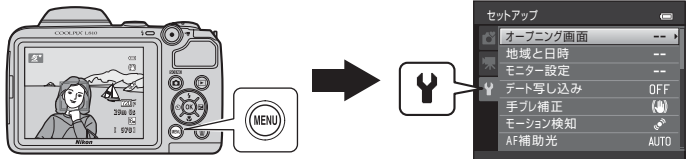
音量の調節

再生中にズームレバー **T**/**W**（2）を回します。

動画再生について

COOLPIX L810以外で撮影した動画は、このカメラで再生できません。

カメラに関する基本設定

この章では、Ｙセットアップメニューで設定できる項目の種類を説明しています。

セットアップメニュー

MENUボタンを押す ➔ Ƴ（セットアップ）タブ ➔ ⓚボタン

メニュー画面でƳタブを選ぶと、以下の項目をセットアップメニューで設定できます。

項目	内容
オープニング画面	カメラの電源をONにしたときに、液晶モニターにオープニング画面を表示するかどうかを設定します。
地域と日時	内蔵時計を合わせます。
モニター設定	モニター表示設定や画面の明るさを設定します。
デート写し込み	撮影日時を画像に写し込む設定ができます。
手ブレ補正	撮影するときの手ブレ補正を設定します。
モーション検知	静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。
AF補助光	AF補助光の点灯/非点灯を設定します。
操作音	操作音について設定します。
オートパワーオフ	節電のために液晶モニターが消灯するまでの時間を設定します。
メモリーの初期化/カードの初期化（フォーマット）	内蔵メモリー /SDカードを初期化します。
言語/Language	画面に表示する言語を設定します。
TV出力設定	テレビとの接続に必要な設定をします。

項目	内容
目つぶり検出設定	顔認識撮影したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。
Eye-Fi送信機能	市販のEye-Fiカードによるパソコンへの画像送信機能を有効にするかどうか設定します。
設定クリアー	カメラを初期設定にリセットします。
電池設定	使用する電池の種類を設定します。
バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

付録、索引

取り扱い上のご注意

カメラについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」（🕮vii～x）をお守りください。

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください

カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

温度差が極端な場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 電池やACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態で取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やカードの故障の原因になります。

● 液晶モニターについて

- モニター画面（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では液晶モニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。
- 液晶モニターの表面を強くこすったり、強く押したりすると、破損や故障の原因になります。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないようご注意ください。

● スミアについて

明るい被写体にレンズを向けると、液晶モニターに白色または色のついた光の帯が現れることがあります。撮像素子の特性上、強い光が入射すると発生する「スミア」という現象で、故障ではありません。また、スミアの影響で液晶モニターに色ムラが見えることもあります。
マルチ連写と動画以外の撮影では、記録画像にスミアの影響はありません。
マルチ連写と動画の撮影では、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。

電池について

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」（📖x～xiii）をお守りください。

● 使用上のご注意

- 使用後の電池は、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 使用推奨期限の過ぎた電池は使わないでください。
- 残量のなくなった電池をカメラに入れたまま、電源のON/OFFを何度も繰り返さないでください。

● 予備電池を用意する

撮影環境に応じて、予備電池をご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

● 充電について

別売のリチャージャブルバッテリーをお使いの際は、撮影の前に充電してください。ご購入時にはフル充電されておりません。
バッテリーチャージャーに付属の説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

● **リチャージャブルバッテリーの充電について**

- 型番の異なるバッテリー、残量の異なるバッテリーを混用しないでください。
- COOLPIX L810にEN-MH2を使う場合は、バッテリーチャージャー MH-73で4本同時に充電してください。MH-73以外の充電器では充電しないでください。
- MH-73でEN-MH2以外の充電池を充電しないでください。
- Ni-MHリチャージャブルバッテリー EN-MH1は使えません。

● **ニッケル水素充電池について**

- ニッケル水素充電池は、残量がある状態で繰り返し充電すると、メモリー効果（電池容量が一時的に低下したような特性を示す現象）で、［**電池残量がありません**］と早めに表示されることがあります。最後まで使い切ってから充電すると、正常に戻ります。
- ニッケル水素充電池の残量は、お使いにならないときでも自然放電で減っていきます。お使いになる直前に充電するようおすすめします。

● **低温時には残量のじゅうぶんな電池を使い、予備電池も用意する**

電池は一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、電池およびカメラを冷やさないようにしてください。消耗した電池を低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備の電池は保温し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温に戻ると使える場合があります。

● **電池の接点について**

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭い取ってください。

● **電池の残量について**

電池の特性上、残量のなくなった電池でもカメラに入れると、電池の残量が充分にある状態を表示することがありますので、ご注意ください。

● **リサイクルについて**

使えなくなったバッテリーは、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- メモリーカードは、SDカード以外は使えません。推奨カード➡📖15
- お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について

- SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。未使用のSDカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- SDカードを初期化すると、カード内のデータは、すべて削除されます。初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- SDカードを入れたあとにカメラに［**このカードは初期化されていません。初期化しますか？**］の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、［**いいえ**］を選んでください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。カードを初期化してよければ、［**はい**］を選んでⓀボタンを押してください。
- 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やカードの故障の原因になります。
  - 電池/SDカードカバーを開けて、カードや電池を脱着する
  - カメラの電源をOFFにする
  - ACアダプターを外す

お手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

レンズ

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディー

- ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、電池を取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安に電池を入れ、カメラを操作するようおすすめします。
カメラを以下の場所に保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が60%を超える場所

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

電源、表示、設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラの電源が突然切れる	• 電池残量がありません。 • 無操作状態が続いたため、オートパワーオフ機能が働きました。 • 低温下ではカメラや電池が正常に動作しないことがあります。	21 88 🔆3
液晶モニターに何も映らない	• 電源が入っていません。 • 電池残量がありません。 • 節電機能により待機状態になっています。電源スイッチ、シャッターボタン、📷 ボタン、▶ ボタン、または●（🎥 動画撮影）ボタンを押してください。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 • カメラとパソコンがUSBケーブルで接続されています。 • カメラとテレビがオーディオビデオケーブルまたはHDMI ケーブルで接続されています。	22 21 2、22 52 71、76 71
液晶モニターがよく見えない	• 液晶モニターの明るさを調整してください。 • 液晶モニターが汚れています。	88 🔆6

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影日時が正しく表示されない	• 日時を設定していない（撮影時に日時未設定マークが点滅している）場合は、静止画の撮影日時が「0000/00/00　00:00」、動画の撮影日時が「2012/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー［**地域と日時**］で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。	16、88
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー［**モニター設定**］の［**モニター表示設定**］が［**情報OFF**］になっています。	88
［**デート写し込み**］が選べない	セットアップメニュー［**地域と日時**］が設定されていません。	16、88
［**デート写し込み**］を有効にしたのに、日付が写し込まれない	• 日付を写し込めない撮影モードになっています。 • 動画には写し込みできません。	88
電源を入れると地域と日時の設定画面が表示される	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	16、19
設定内容が初期状態に戻ってしまった		
カメラの温度が高くなる	動画撮影やEye-Fiカードでの画像送信などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがありますが、故障ではありません。	–

●デジタルカメラの特性について

きわめてまれに、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。このような場合は、電源をOFFにして電池を入れ直し、もう一度電源をONにしてみてください。これによってカメラが作動しなくなったときのデータは失われるおそれがありますが、すでに内蔵メモリーまたはSDカードに記録されているデータは失われません。この操作を行ってもカメラに不具合が続くときは、ニコンサービス機関にお問い合わせください。

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影モードにできない	HDMIケーブルまたはUSBケーブルを外してください。	71、76
撮影できない	• 再生モードになっているときは、📷 ボタン、シャッターボタン、または ●（🎥 動画撮影）ボタンを押してください。 • メニューが表示されているときは、MENU ボタンを押してください。 • 電池残量がありません。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。	29 3 21 52
3D画像を撮影できない	被写体が暗いとき、コントラストが低いときなど、撮影条件によっては、2コマ目を撮影できないことや、撮影した画像を保存できないことがあります。	–

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
ピントが合わない	• 被写体との距離が近すぎます。らくらくオート撮影モード、シーンモードの［**クローズアップ**］、またはマクロモードでの撮影をお試しください。 • オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 • セットアップメニュー［**AF 補助光**］を［**AUTO**］にしてください。 • 電源を入れ直してください。	34、39、57 28 88 22
画像がぶれる	• フラッシュを使ってください。 • ISO 感度を上げて撮影してください。 • 手ブレ補正機能やモーション検知機能を使ってください。 • BSS（ベストショットセレクター）を使ってください。 • 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。	51 49 88 40、49 55
液晶モニターに光の帯や色ムラが発生する	明るい被写体にレンズを向けるとスミアが発生することがあります。マルチ連写と動画の撮影では、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。	49、 ☼3
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュを閉じるか、フラッシュモードを ⊛（発光禁止）にしてください。	5、53
フラッシュが発光しない	• フラッシュを閉じているか、フラッシュモードが ⊛（発光禁止）になっています。 • フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 • ベストフェイスメニューで［**目つぶり軽減**］が［**ON**］になっています。 • フラッシュが制限される他の機能が設定されています。	5、51 60 46 64

付録、索引

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電子ズームが使えない	• 以下の場合、電子ズームは使えません。 - シーンモードが［**ポートレート**］、［**夜景ポートレート**］、［**ペット**］または［**3D 撮影**］のとき - ベストフェイスモードのとき - 撮影メニュー［**連写**］が［**マルチ連写**］のとき	36、37、42、43 44 49
［**画像モード**］が選べない	［**画像モード**］が制限される他の機能が設定されています。	64
シャッター音が鳴らない	• セットアップメニュー［**操作音**］の［**シャッター音**］が［**OFF**］になっています。［**ON**］にしていても、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。 • スピーカーをふさがないでください。	88 2
AF補助光が点灯しない	セットアップメニュー［**AF補助光**］が［**OFF**］になっています。［**AUTO**］に設定していても、シーンモードによっては点灯しない場合があります。	88
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	🔆6
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスまたは色合いが選ばれていません。	39、49
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 • フラッシュを使ってください。 • 低い ISO 感度にしてください。	51 49

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像が暗すぎる	• フラッシュを閉じているか、フラッシュモードが ㊋（発光禁止）になっています。 • フラッシュが指などでさえぎられています。 • 被写体にフラッシュの光が届いていません。 • 露出を補正してください。 • ISO 感度を上げてください。 • 逆光で撮影しています。シーンモードの［**逆光**］にするか、フラッシュをポップアップしてフラッシュモードを ⚡（強制発光）にしてください。	51 23 51 59 49 40、51
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	59
赤目以外の部分が補正された	⚡◎（赤目軽減自動発光）や、らくらくオート撮影モード、シーンモードの［**夜景ポートレート**］の赤目軽減スローシンクロ強制発光でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。［**夜景ポートレート**］以外のシーンモードかオート撮影モードで、フラッシュモードを⚡◎（赤目軽減自動発光）以外にして撮影してください。	37、51
美肌の効果が得られない	• 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 • 4 人以上の顔を撮影した画像は、再生メニューの［**美肌**］をお試しください。	45 70
画像の記録に時間がかかる	以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。 • 暗い場所などで自動的にノイズ低減機能が作動したとき • フラッシュを ⚡◎（赤目軽減自動発光）にして撮影したとき • 美肌機能で撮影したとき	 – 54 36、37、46
画面や撮影画像にリング状の帯や虹色の縞模様が見える	逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内にある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様（ゴースト）等が写し込まれることがあります。光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮影をお試しください。	–

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	• パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、ファイル名やフォルダー名が変更されました。 • このカメラ以外で撮影した動画は再生できません。	– 85
画像の拡大表示ができない	• 動画やスモールピクチャー、320 × 240 以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。 • このカメラ以外で撮影した画像は、拡大できないことがあります。 • カメラを HDMI 接続して、3D 画像を 3D（立体）で再生しているときは、拡大表示できません。	– – 43
D-ライティング、美肌、スモールピクチャー、トリミングができない	• 動画は編集できません。 • ［**画像モード**］を［**4608 × 2592**］にして撮影した画像、［**3D 撮影**］で撮影した画像の編集や、同じ種類の編集の繰り返しなどはできません。 • このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。	– 70 70
画像を回転できない	このカメラ以外で撮影した画像、および［**3D撮影**］で撮影した画像は、回転できません。	43
動画を編集できない	• 編集で作成した動画の再編集はできません。 • 再生時間が 2 秒未満になる切り出しはできません。 • 内蔵メモリー /SD カードに充分な空き容量がないときや、電池残量表示が ▭ のときは編集できません。	–

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像がテレビに映らない	• セットアップメニュー［**TV 出力設定**］の［**ビデオ出力**］または［**HDMI**］が正しく設定されていません。 • HDMI ミニ端子と USB/ オーディオビデオ出力端子の両方にケーブルが接続されています。 • 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときは SD カードを取り出してください。	88 71、76 13
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer 2 が自動起動しない	• カメラの電源が OFF になっています。 • 電池残量がありません。 • USB ケーブルが正しく接続されていません。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • 対応 OS を確認してください。 • Nikon Transfer 2 が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer 2 については、ViewNX 2 のヘルプをご覧ください。	22 21 71、76 — 73 76
プリントする画像が表示されない	• 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。 • 内蔵メモリーの画像をプリントするときは SD カードを取り出してください。 • シーンモードの［**3D 撮影**］で撮影した画像はプリントできません。	13 13 43
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge 対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。	71 —

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX L810

型式		コンパクトデジタルカメラ
有効画素数		16.1メガピクセル
撮像素子		1/2.3型 原色CCD、総画素数16.44メガピクセル
レンズ		光学26倍ズーム、NIKKORレンズ
	焦点距離	4.0-104.0mm（35mm判換算22.5-585 mm相当の撮影画角）
	開放F値	f/3.1-5.9
	レンズ構成	9群12枚（EDレンズ1枚）
電子ズーム		最大4倍（35mm判換算で約 2340 mm相当の撮影画角）
手ブレ補正		レンズシフト方式
オートフォーカス		コントラスト検出方式
	撮影距離	• 先端レンズ面中央から約 50 cm ～∞（広角側）、約 1.5 m ～∞（望遠側） • マクロモード時は先端レンズ面中央から約 1 cm（ズームのミドルポジション）～∞
	AFエリア	中央、顔認識
液晶モニター		広視野角3型TFT液晶、反射防止コート付き、約92万ドット、輝度調節機能付き（5段階）
	視野率（撮影時）	上下左右とも約98%（対実画面）
	視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）
記録方式		
	記録媒体	内蔵メモリー（約 50 MB）、SD/SDHC/SDXCメモリーカード
	画像ファイル	DCF、Exif 2.3、DPOF、MPF準拠
	ファイル形式	静止画：JPEG 3D画像：MPO 動画：MOV（映像：H.264/MPEG-4 AVC、音声：LPCMステレオ）

項目		仕様
画像モード（記録画素数）		・16M（高画質）［4608 × 3456★］ ・16M［4608 × 3456］ ・8M［3264 × 2448］ ・4M［2272 × 1704］ ・2M［1600 × 1200］ ・VGA［640 × 480］ ・16:9［4608 × 2592］
ISO感度（標準出力感度）		・ISO 80、100、200、400、800、1600 ・オート（ISO 80 ～ 1600）
露出		
	測光方式	マルチパターン測光（256分割）、中央部重点測光（電子ズームが2倍未満のとき）、スポット測光（電子ズームが2倍以上のとき）
	露出制御	プログラムオート、モーション検知機能付き、露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能
シャッター		メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用
	シャッタースピード	・1/1500 ～ 1 秒 ・4 秒（シーンモードの［**打ち上げ花火**］）
絞り		電磁駆動によるNDフィルター（－3.3 AV）選択方式
	制御段数	2（f/3.1、f/9.9［広角側］）
セルフタイマー		約 10秒
フラッシュ		
	調光範囲（ISO 感度設定オート時）	約 0.5～5.0 m（広角側） 約 1.5～2.5 m（望遠側）
	調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
インターフェース		Hi-Speed USB
	通信プロトコル	MTP、PTP
ビデオ出力		NTSC、PALから選択可能
HDMI出力		オート、480p、720p、1080iから選択可能
入出力端子		オーディオビデオ（AV）出力/デジタル端子（USB）、HDMIミニ端子（Type C）（HDMI出力）、DC入力端子
言語		日本語、英語の2言語

電源	・ アルカリ単 3 形電池、リチウム単 3 形電池のいずれかを各 4 本 ・ リチャージャブルバッテリーEN-MH2（ニッケル水素充電池）× 4 本（別売） ・ AC アダプター EH-67（別売）
撮影可能コマ数（電池寿命）※	・ 約 300 コマ（アルカリ電池使用時） ・ 約 740 コマ（リチウム電池使用時） ・ 約 450 コマ（EN-MH2 使用時）
動画撮影可能時間（電池寿命）	・ 約 1 時間 50 分（HD 720p、アルカリ電池使用時） ・ 約 5 時間 15 分（HD 720p、リチウム電池使用時） ・ 約 3 時間 10 分（HD 720p、EN-MH2 使用時）
三脚ネジ穴	1/4（ISO 1222）
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 111.1×76.3×83.1 mm（突起部除く）
質量	約 430 g（電池、SDメモリーカード含む）
動作環境	
使用温度	0℃～40℃
使用湿度	85%以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは、すべて常温（25℃）、アルカリ単3形電池使用時のものです。

※ 電池寿命測定方法を定めたCIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。測定条件は、23（±2）℃、撮影ごとにズーム、2回に1回の割合でのフラッシュ撮影、画像モード［**16M 4608×3456**］です。撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などにより、コマ数は変動することがあります。リチウム電池の数値は、市販の「エナジャイザー リチウム乾電池（単3形）」使用時の値です。
付属の電池はお試し用の電池です。

説明書について

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF)：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録方式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.3：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。
  この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報をいかして最適なプリント出力を得ることができます。
  詳しくはプリンターの説明書をご覧ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

索引

マーク・英数字

ア

付録、索引

カ

サ

マ

ヤ

ラ

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

・ 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン　カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
・ 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

・ お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
・ ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
・ ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

・ ニコンサービス機関（裏面に記載の「修理センター」など）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。
・ ニコンサービス機関につきましては、詳しくは「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。

【お願い】

・ 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
※内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

・ 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

Nikon

製品の使い方に関するお問い合わせ

＜ニコン カスタマーサポートセンター＞
全国共通のナビダイヤルにお電話ください。

携帯OK

0570-02-8000
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30 ～ 18:00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577 におかけください。
ファクシミリでのご相談は、（03）5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

＜ニコン ピックアップサービス＞
下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。
※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。

0120-02-8155

営業時間：9:00～18:00（年末年始12/29～1/4を除く毎日）

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。
製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

＜（株）ニコンイメージングジャパン　修理センター＞
230-0052　横浜市鶴見区生麦2-2-26

携帯OK

0570-02-8200
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～17:30（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

＜ニコンイメージング／サポートページ＞

- http://www.nikon-image.com/support/
  最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。
  ※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。
- http://www.nikon-image.com/support/repair/
  「ニコン　ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

Printed in China

CT1L01(10)

6MM25610-01